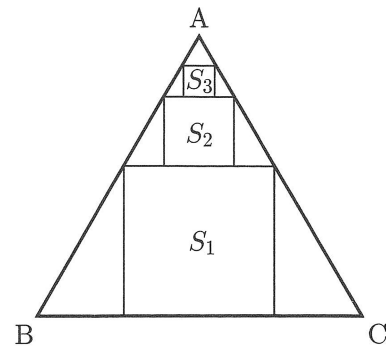


1 0でない複素数  $\alpha, \beta$  が  $\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2 = 0$  を満たすとする。複素数平面上の4点を  $O(0), A(\alpha), B(\beta), C(-\beta)$  として、次の問いに答えよ。

- (1)  $\frac{\beta}{\alpha}$  を求めよ。
- (2)  $\frac{\beta}{\alpha}$  の絶対値  $r$  および偏角  $\theta$  を求めよ。ただし、偏角の範囲は  $0 \leq \theta < 2\pi$  とする。
- (3)  $\triangle ABO$  の3つの角の大きさを求めよ。
- (4)  $\triangle ABO$  の面積を  $S_1$  とし、 $\triangle ABC$  の面積を  $S_2$  とするとき、 $\frac{S_2}{S_1}$  の値を求めよ。

(徳島大学 2016)

2 1辺の長さが1の正三角形  $ABC$  に、図のように正方形  $S_1, S_2, S_3, \dots$  を順に内接させるものとする。



- (1) 正方形  $S_1$  の1辺の長さを求めよ。
- (2)  $n$  番目の正方形  $S_n$  の面積  $s_n$  を求めよ。
- (3) これらの正方形の面積の総和

$$s = s_1 + s_2 + \dots + s_n + \dots$$

を求めよ。

(日本女子大学 2014)

3  $a, b$  を定数とし、関数  $f(x) = \sin 2x + a \cos x + b$  とする。  $f\left(\frac{\pi}{6}\right) = \sqrt{3}$  とするとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $b$  を  $a$  を用いて表せ。
- (2) 曲線  $y = f(x)$  上の点  $P\left(\frac{\pi}{2}, f\left(\frac{\pi}{2}\right)\right)$  における法線が、点  $Q\left(\frac{\pi}{2} + 2\sqrt{3}, 0\right)$  を通るとき、 $a, b$  の組をすべて求めよ。
- (3) (2) で求めた  $a, b$  で定められる  $f(x)$  のうち、 $x = \frac{\pi}{6}$  で極値をとるものについて考える。このとき  $0 \leq x \leq 2\pi$  の範囲において、 $f(x)$  のすべての極値を求めよ。

(岩手大学 2016)



2016年医(保健)・工学部第2問

2 0でない複素数  $\alpha, \beta$  が  $\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2 = 0$  を満たすとする。複素数平面上の4点を  $O(0), A(\alpha), B(\beta), C(-\beta)$  として、次の問いに答えよ。

- (1)  $\frac{\beta}{\alpha}$  を求めよ。
- (2)  $\frac{\beta}{\alpha}$  の絶対値  $r$  および偏角  $\theta$  を求めよ。ただし、偏角の範囲は  $0 \leq \theta < 2\pi$  とする。
- (3)  $\triangle ABO$  の3つの角の大きさを求めよ。
- (4)  $\triangle ABO$  の面積を  $S_1$  とし、 $\triangle ABC$  の面積を  $S_2$  とするとき、 $\frac{S_2}{S_1}$  の値を求めよ。

(1)  $\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2 = 0$  の両辺を  $\alpha^2 (\neq 0)$  で割り、

$$\left(\frac{\beta}{\alpha}\right)^2 + \frac{\beta}{\alpha} + 1 = 0$$

↓ 解の公式

$$\therefore \frac{\beta}{\alpha} = \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2} \text{ ,,}$$

$$(2) \frac{\beta}{\alpha} = \cos\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right) + i \sin\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$0 \leq \theta < 2\pi \text{ より, } \underline{r = 1, \theta = \frac{2}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi \text{ ,,}}$$

$$(3) (2) \text{ より, } \beta = \left\{ \cos\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right) + i \sin\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right) \right\} \alpha \text{ より}$$

右図のいずれかになる。どちらも

$$OA = OB, \angle AOB = \frac{2}{3}\pi \text{ の二等辺三角形であり,}$$

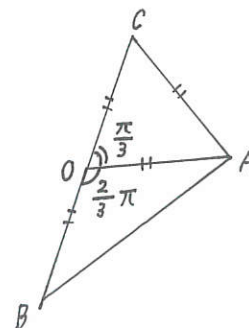
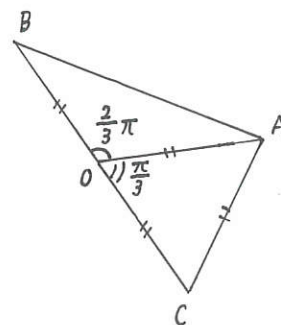
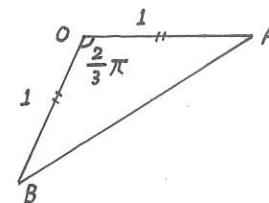
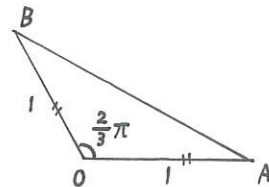
$$\text{よりの角は, } \underline{\angle AOB = \frac{2}{3}\pi, \angle OAB = \angle OBA = \frac{\pi}{6} \text{ ,,}}$$

$$(4) S_1 = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 1 \cdot \sin \frac{2}{3}\pi = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

右の図より。

$$S_2 = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 1 \cdot \sin \frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\therefore \frac{S_2}{S_1} = \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{4}{\sqrt{3}} = \underline{2 \text{ ,,}}$$



2014年 理学部 第1問

数理  
石井

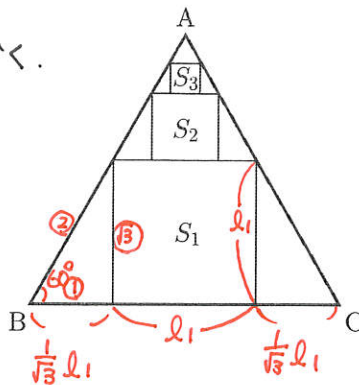
1 1辺の長さが1の正三角形ABCに、図のように正方形 $S_1, S_2, S_3, \dots$ を順に内接させるものとする。

(1)  $S_n$ の1辺の長さを $l_n$ とおく。

右図よ。

$$l_1 + \frac{2}{\sqrt{3}} l_1 = 1$$

$$\therefore l_1 = 2\sqrt{3} - 3 //$$



(1) 正方形 $S_1$ の1辺の長さを求めよ。

(2)  $n$ 番目の正方形 $S_n$ の面積 $s_n$ を求めよ。

(3) これらの正方形の面積の総和

$$s = s_1 + s_2 + \dots + s_n + \dots$$

を求めよ。

(2) (1)と同様にすると。

$$l_{n+1} + \frac{2}{\sqrt{3}} l_{n+1} = l_n$$

$$\therefore l_{n+1} = (2\sqrt{3} - 3) l_n$$

$\therefore \{l_n\}$ は初項 $2\sqrt{3} - 3$ 、公比 $2\sqrt{3} - 3$ の等比数列となる。  $\therefore l_n = (2\sqrt{3} - 3)^n$

$$\therefore s_n = l_n^2 = (2\sqrt{3} - 3)^{2n} //$$

(3)

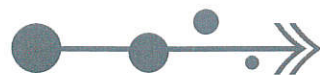
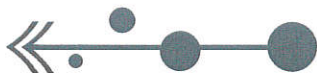
$$s = (2\sqrt{3} - 3)^2 + (2\sqrt{3} - 3)^4 + \dots$$

$$0 < 2\sqrt{3} - 3 < 1 \quad \text{より} \quad 0 < (2\sqrt{3} - 3)^2 < 1$$

$$s = \frac{(2\sqrt{3} - 3)^2}{1 - (2\sqrt{3} - 3)^2}$$

$$= \frac{21 - 12\sqrt{3}}{12\sqrt{3} - 20}$$

$$= \frac{3(\sqrt{3} - 1)}{8} //$$



2016年理工学部第3問

3  $a, b$  を定数とし、関数  $f(x) = \sin 2x + a \cos x + b$  とする。  $f\left(\frac{\pi}{6}\right) = \sqrt{3}$  とするとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $b$  を  $a$  を用いて表せ。  
 (2) 曲線  $y = f(x)$  上の点  $P\left(\frac{\pi}{2}, f\left(\frac{\pi}{2}\right)\right)$  における法線が、点  $Q\left(\frac{\pi}{2} + 2\sqrt{3}, 0\right)$  を通るとき、 $a, b$  の組をすべて求めよ。  
 (3) (2) で求めた  $a, b$  で定められる  $f(x)$  のうち、 $x = \frac{\pi}{6}$  で極値をとるものについて考える。このとき  $0 \leq x \leq 2\pi$  の範囲において、 $f(x)$  のすべての極値を求めよ。

$$\begin{aligned} (1) f\left(\frac{\pi}{6}\right) &= \sin \frac{\pi}{3} + a \cos \frac{\pi}{6} + b \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2}a + b + \frac{\sqrt{3}}{2} \end{aligned}$$

$$\therefore \frac{\sqrt{3}}{2}a + b + \frac{\sqrt{3}}{2} = \sqrt{3} \quad \therefore b = \frac{\sqrt{3}}{2}(1-a) //$$

$$(2) f'(x) = 2 \cos 2x - a \sin x$$

$$\therefore f'\left(\frac{\pi}{2}\right) = -2 - a$$

(i)  $a \neq -2$  のとき。

$$\text{法線の傾きは } \frac{1}{a+2}$$

$$PQ \text{ の傾きは } \frac{b-0}{-2\sqrt{3}} = \frac{1}{4}(a-1)$$

$$\therefore \frac{1}{a+2} = \frac{a-1}{4} \text{ より } (a-2)(a+3) = 0 \quad \therefore a = -3, 2$$

$$\therefore (a, b) = (-3, 2\sqrt{3}), (2, -\frac{\sqrt{3}}{2}) //$$

(ii)  $a = -2$  のとき  $P, Q$  を同時に通る  $y$  軸に平行な直線は存在せず不適。

$$(i), (ii) \text{ より } (a, b) = (-3, 2\sqrt{3}), (2, -\frac{\sqrt{3}}{2}) //$$

$$(3) f'\left(\frac{\pi}{6}\right) = 2 \cos \frac{\pi}{3} - a \sin \frac{\pi}{6} = 1 - \frac{1}{2}a \quad \therefore x = \frac{\pi}{6} \text{ で極値をとるのは } (a, b) = (2, -\frac{\sqrt{3}}{2})$$

$$\text{このとき } f(x) = \sin 2x + 2 \cos x - \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$f'(x) = 2 \cos 2x - 2 \sin x = -2(2 \sin x - 1)(\sin x + 1)$$

$$\therefore \text{極大値 } \sqrt{3} \text{ (} x = \frac{\pi}{6} \text{ のとき), 極小値 } -2\sqrt{3} \text{ (} x = \frac{5}{6}\pi \text{ のとき)} //$$

$x$	0	...	$\frac{\pi}{6}$	...	$\frac{5}{6}\pi$	...	$\frac{3}{2}\pi$	...	$2\pi$
$f(x)$		+	0	-	0	+	0	+	
$f(x)$			$\nearrow \sqrt{3}$		$\searrow -2\sqrt{3}$		$\nearrow$		$\nearrow$
			極大		極小				